

**言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った  
国語科の授業実践例**

坂町立坂中学校

- 1 学年・単元名 第3学年 文法の窓2『敬語』
- 2 本時の目標 敬語についての理解を深め、生活の中で適切に使うことができる。
- 3 本時の工夫点
  - メモをもとに話す・聞く
  - 話す 主語を入れ、概要・内容・まとめの構成で家族紹介をさせる。
  - 聞く インタビューをしながら、要点を正確にメモさせる。
  - 根拠を話し合う
  - 「問題のある敬語の使い方」について、なぜ問題なのかをグループで話し合わせる。

4 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1 前時の復習と本時のねらいの確認をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">場面に応じて、敬語を正しく使えるようになるろう。</div>	
2 敬語の使用上の注意を3点まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を根拠とさせる。</li> <li>・謙譲語と尊敬語の区別を想起させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">なぜ問題なのか、根拠を明らかにして発表させる。</div>	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語の使い方に問題のある三つの文を掲示し、問題点を考える。</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">お母さんが先生にお電話なさるそうです。(相対敬語) 教室に先生はおりますか。(尊敬語と謙譲語の誤用) 先生がご本をお読みになられていらっしゃる。(二重敬語)</div>	
3 「敬語の使い方マニュアル」を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面・相手に応じて正しく使い分けさせる。</li> <li>・謙譲語と尊敬語の区別を想起させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「学校の代表として、オープンスクールの申込の電話を高校にかける。」</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や相手に応じて敬語を正しく使い分けしている。(ワークシート)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に寸劇で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話し合ったものを拡大用紙にマジックで書き、黒板に掲示させる。</li> </ul>	
4 先生紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語の誤用を想起させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモをもとに、敬語を使い、主語を補って話させる。</li> <li>・概要・内容・まとめの構成で話させる。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモを話し言葉の原稿に書き直させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞いてメモをとりメモをもとに敬語を使って話している。(ワークシート・評価表)</li> </ul>
5 敬語の使い方をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬意を使用する度合いについて考えさせ、人間関係との結びつき(親疎)について触れる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係を潤滑にする。</li> <li>・敬意と親疎の度合いがある。</li> </ul>		